

# 南郷通信

第37号



発行元

特別養護老人ホーム南郷の里  
大東市氷野2丁目1-13

072-873-0031

発行日 令和2年1月14日

発行者 権田 修一郎

新年明けましておめでとございます。  
本年も更なるサービスの質の向上を目指し、職員一丸となつて取り組んで参ります。  
今号では、恒例となつた新年のご挨拶の様子と、昨年末のクリスマス会の様子をお届けいたします。

## 新年のご挨拶

令和2年元旦



元日の午後より、宮中施設長、乾看護師長、中本介護長、迎係長、畑田看護師、そして私施設部次長権田の6名で、各階を回らせていただき、新年のご挨拶をさせていただきますました。年末年始を自宅でご家族とお過ごしになられる方もいらっしゃると思いますが、やはり多くの方は施設で新年を迎えます。施設理念にも「家族としたい」との一文があります様に、南郷の里の皆様には職員共々、良い年明けを迎えていただきたいという思いで毎年この企画をさせていただいております。



ビール、お屠蘇、ジュースをご用意させていただき、お好きなものを選んで召し上がっていただくと、皆さん普段のレクや行事の時よりもいい表情をして下さいます。「普段飲めないお酒が飲める」とお酒好きな方が喜ぶのは分かりませんが、今年は例年に比べ、ジュースを希望する方が多いように思いました。その方々も普段以上に良い表情をして下さるのは、利用者の皆さんも施設長はじめ職員のこととを、家族だと思つて下さっているからではないかなと感じました。

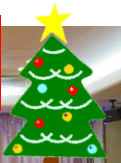


今年はお一人おひとりにゆくりとご挨拶したいとの施設長の思いから、入浴日を振り替えて、いらっしゃる皆様全員にご挨拶をさせていただきますました。  
笑顔で迎えて下さる利用者の皆様の想いを知り、宮中施設長が本当に南郷の里が大好きで、毎年のこの行事をとて大切にしている理由が分かり、皆さんの素敵な笑顔も拝見することができ、とても素晴らしい新年を迎えさせていただきました。



裏面ではクリスマス会の様子をご紹介します

# クリスマス会



令和元年12月25日

今年も3部制で開催された毎年恒例のクリスマス会。各部署ごとに踊り・寸劇、ハンドベルなどを披露し、皆様にお楽しみいただきました。最後には可愛いサンタと、何故かバットマンも登場し、いい意味でゆる〜い、南郷の里らしいイベントとなった様に思います。



## パプリカ(事務所・医務)



施設3大行事の一つでありますクリスマス会が今年も法人全体で開催され、3部制に分けて特養・シヨート・デイサービスの皆様方にお楽しみいただきました。

事務所・医務の職員は昨年大流行したパプリカのダンスを披露。子ども様な可愛さはありませんが、気持ちだけは昔に戻って、踊りを披露してくれました。

## 水戸黄門(4階)



4階と言えば水戸黄門。水戸黄門と言っても過言ではない程もうすっかりお馴染みであります。印籠が出る瞬間の盛り上がりは、クリスマス会1かも知れません。

## サザエさん体操(デイサービス)



デイサービスには宮中施設長も参加し、サザエさんのテーマに合わせてエクササイズができるサザエさん体操を披露。体操を覚えてくれたデイの利用者さんは前へ出て踊ってくれたり、誰もが知っているサザエさんのメロディーを皆口ずさんでくれていました。

## マツケンサンバ(2階)



流行から10年以上経ってもマツケンサンバの勢いは衰えを知りません。職員の踊りのキレも中々で、会場全体を盛り上げてくれました。

## ハンドベル(3階)



サンバ熱した会場の雰囲気グッと締めてくれたのが3階のハンドベルでした。声をかけ合いながら、3階らしい、ほっこりする演奏を聴かせてくれました。



最後は悪者に奪われたプレゼントをバットマンが奪い返し、サンタさんに返してくれてハッピーエンド。ご家族様も大勢お越し下さり、ありがとうございました。又、各部署の出し物はYouTubeにも投稿しておりますので、ぜひご覧下さい。